

学校教育目標	○深く考え 協働しながら 学び続ける 力を育みます。(知)(公) ○自分を大切にし 相手を思いやる 心を育みます。(徳) ○夢に向かって たくましく チャレンジする 姿勢を育みます。(体)(開) ～子どもたち一人ひとりが持続可能な社会の創り手となることをめざして～				
	創立 47 周年 児童生徒数: 565 人	学校長 小嶋 貴之 主な関係校: 田奈中学校 あかね台中学校	副校長 野澤 聡子	3 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	田奈中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈言語能力〉 〈自分づくり〉 〈問題発見解決能力〉	田奈中学校 長津田小学校 いぶき野小学校	○自ら学び、活用・探求し、未来を拓く知を創造する子ども ○道徳的に自立し、よりよく生きていこうとする子ども ○自他の生命を尊重し、健康でたくましく生きていく子ども ○地域の人・社会・自然に学び、地域を愛し、貢献する子ども ・小中合同授業研究会等を通じた授業改善、授業力の向上 ・小中合同研修会等を通じた児童生徒指導上の課題解決 ・行事等を通じた児童生徒の交流 ・教職員間の交流、生徒理解

中期取組目標	○他者と協働しながら、コミュニケーション能力を伸ばすとともに課題を解決する力を高めます。 ・1年目は、伝え合いを通して自分の考えを深めることのできる授業づくりを推進します。 ・2年目は、筋道を立て深く考えたことを正確に伝え合うコミュニケーション能力を伸ばす学習場面を増やします。 ・3年目は、考えや思いを共有し協働しながら課題を解決する力を伸ばす活動を進めます。 ○豊かな体験を通して、基本的自尊感情を醸成するとともに、夢や持続可能な社会の実現に向け努力する姿勢を育みます。 ・3年間を通して、共感体験をさまざまな場面で設けるとともに、SDGsを意識した教育活動を推進します。
--------	---

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教育内容推進部</td> </tr> </table>	知	授業改善	担当	教育内容推進部	①一時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業作りをする。めあての共有や、ふりかえりの時間を大切に、児童が主体的に学習を進められるようにする。②重点研究テーマを「伝え合いを通して、自分の学びを深めることができる子供の育成」とし、国語を中心に、児童が深く考え協働しながら学び続ける力を育成する。
知	授業改善				
担当	教育内容推進部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>人権教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童支援部(人権福祉教育)</td> </tr> </table>	徳	人権教育	担当	児童支援部(人権福祉教育)	①ペア学年との活動を毎月行い、異学年交流の機会を設けることで、相手を思いやる力やそれを行動に移す力を養う。②YPアセスメントの分布図に応じて、横浜プログラムの中から活動を選んで取り組み、子どもたちの自尊感情を育む。③児童理解研修や職員の人権感覚を高める研修をいろいろな観点から計画・実施する。
徳	人権教育				
担当	児童支援部(人権福祉教育)				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健康教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>健康安全部</td> </tr> </table>	体	健康教育	担当	健康安全部	①かけ足・持久走の記録会に向けて、主体的に運動に取り組もうとする子を育てる。②かけ足を通じて、運動との豊かな関わり方を知り、生涯にわたって運動に関わろうとする子を育てる。③栄養教諭のリーダーシップのもと、各担当がそれぞれの学級において、食育を推進する。
体	健康教育				
担当	健康安全部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td>ESDの推進</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教育内容推進部</td> </tr> </table>	公開	ESDの推進	担当	教育内容推進部	①「横浜の時間」を中心に、学習内容とSDGs17の目標とのつながりを示し、学ぶことの意味を考える機会を位置づける。②学校HP、学校だより等でSDGsに関連する学習活動の様子について積極的に地域、家庭に発信し、理解と協力を求める。
公開	ESDの推進				
担当	教育内容推進部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童支援部</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	児童支援部	①子どもたちが発するサインを見逃さないような資質・能力をすべての教職員が身につけられるようにする。②子どもとの面接やアンケートを通じ、どの子どもも安心して学校生活を送ることができているか、全ての教職員で実態の把握に努めるとともに、情報を常に児童支援専任と共有する。
いじめへの対応					
担当	児童支援部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">人材育成・組織運営(働き方)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部・メンターチーム</td> </tr> </table>	人材育成・組織運営(働き方)		担当	教務部・メンターチーム	①一部教科分担制を導入し、複数の職員による関わりから児童一人ひとりのよさを引き出すとともに、効率的な教材研究や空き時間の確保により職員の持続可能な働き方を推進する。②メンターチームを組織し、ミドルリーダーを中心としながら月一回程度の自主研修を行い、経験の浅い教員の育成を図る。
人材育成・組織運営(働き方)					
担当	教務部・メンターチーム				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">地域学校協働活動</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部</td> </tr> </table>	地域学校協働活動		担当	教務部	①児童一人ひとりに義務教育の9年間で育成を目指す資質・能力が確実に身につくよう、地域、家庭、学校が目標を共有して充実した教育活動を展開するために、学校運営協議会、地域連携協働本部と連携し、地域の方の教育活動への参画を推進する。
地域学校協働活動					
担当	教務部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童支援部(特別支援教育)</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	児童支援部(特別支援教育)	①一般級に在籍する配慮の必要な児童の理解に努め、誰にとっても優しい学習環境となるよう、バリアフリーを推進する。②一人ひとりのニーズに応じた個別の指導計画や個別の教育支援計画を作成し、活用を図る。③研修を行い、障害についての教職員の理解を深める。
特別支援教育					
担当	児童支援部(特別支援教育)				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">児童生徒指導</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童支援部(児童指導)</td> </tr> </table>	児童生徒指導		担当	児童支援部(児童指導)	①どの教員でも同じ指導ができるように「長二スタンダード」を共通理解した上で指導にあたる。②職員会議内に児童理解・把握の時間を設け、各クラスの児童の状況や接し方を共通理解する。③Y-Pプログラムを活用し、多面的な児童理解と具体的な支援・指導を実践する。
児童生徒指導					
担当	児童支援部(児童指導)				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">a15</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	a15		担当		a25
a15					
担当					